

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営理念

お客様第一義を基本に、サードパーティ・ロジスティクス（3PL）業界のNo.1企業を目指し、同志の幸福と豊かな社会づくりに貢献する。

自己資本比率  
45%以上

売上高経常利益率  
8%以上

ROE  
15%以上

## ② 中長期の経営戦略

## 1. コア事業の拡大と開拓

EC物流、低温食品物流、医薬・医療物流において、一貫物流プロセスの構築と調達ネットワークの構築を推進。

## 2. 人材確保と育成の強化

新卒採用強化と中途採用の多角化、タレントマネジメントによる適正配置と離職防止に取り組む。

## 3. DX推進と持続可能物流

データドリブン経営ヘシフト。ITツール活用による収集・蓄積データの分析で迅速な意思決定基盤を構築。

## 4. 経営資源の最適配分

コア事業への集中投資とROICツリー展開による低収益事業の再生・再編を推進。

## ③ 対処すべき課題

## ① 労働力不足と輸送効率

- 人材及び稼働車両不足への対応が必須課題
- AZ-COMネットワーク会員規模拡大でパートナー企業との連携強化
- 全社オールリクルート体制で人材確保を推進

## ② 経営環境の不透明性

- ロシア侵攻、米中対立、地政学リスクへの対応が必要
- 物価上昇と個人消費伸び悩みへの対処
- 日次決算マネジメント全社実施で収益基盤を安定化

## ③ 企業価値最大化とガバナンス

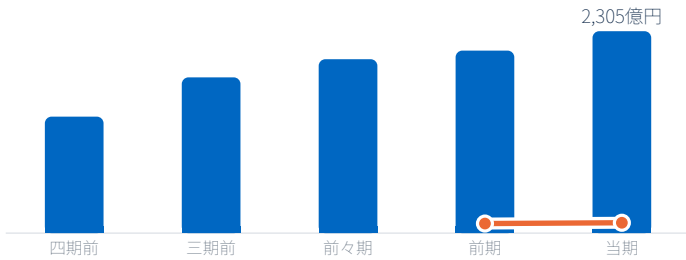
- 資本コスト（ハードルレート8%）を意識した経営資源配分
- ROIC、WACC、ROE等の指標でポートフォリオを評価・改善
- 指名・報酬委員会による透明性と客観性の確保

## 面接で使えるポイント

- 3PL業界No.1を目指し、EC物流・低温食品物流・医薬医療物流でコア事業を展開。
- DXと人材育成を両軸に、労働力不足と輸送効率課題に対応する持続可能物流を構築。
- ROIC10.68%（2024年3月期）を目指し、資本効率と社会的価値の両立を推進。

証券コード 9090

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに  
埼玉県に本社を置く陸運業の上場企業

主力事業・セグメント

- ・陸運業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,305億円の事業規模
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高  
2,305億円営業利益率  
5.1%財務健康度  
43点／100点

将来性 曇り／就活偏差値 58.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
754万円

陸運業内 18位/57社

平均年齢  
46.1歳

陸運業内 16位/57社

平均勤続  
15.6年

陸運業内 30位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

